

森林政策

愛知県の森林・林業政策

日時：平成24年9月22日（土） 10:00～12:00

講師：石田 敬一（愛知県農林水産部技監）

概況

◎愛知県の森林・林業政策

1 世界の森林について

地球の陸上の約30%が森林である。森林率は南米が最も高く、アジアは19%程度。森林面積は世界的に減少傾向にあるが、中国では植林運動により増加している。

2 日本の森林、木材需要

日本の森林率は国土の約7割で、人工林は4割程度である。木材の自給率は昭和30年時点では95%あったが、木材輸入の自由化に伴い自給率は急激に低下し、需要自体が減少した現在も26%にとどまっている。丸太での輸入は減少し、製品の割合が高まっている。上位の輸入元は、オーストラリア、カナダなど。

3 愛知県の森林・林業の現状

愛知県の森林率は、47都道府県中41位、森林面積は37位だが、古くから林業が営まれてきたことなどから人工林率は3位と高く、木材・木製品の出荷額も2位。森林のほとんどが民有林で、齢級の高い森林が多く、新たな造林が少ない。林業従事者数も減少。素材生産量は、平成17年まで減少していたが、低コスト木材生産などの取組から増加しつつある。

4 国の施策：森林・林業再生プラン

今後10年間を目途に、森林の有する多面的機能の持続的発揮、林業、木材産業の地域資源創造型産業への再生、木材利用・エネルギー利用拡大による森林・林業の低炭素社会への貢献の3つの理念のもと、社会構造を木の社会へ転換し、木材自給率50%以上を目標とする。木材の安定供給体制を構築し、儲かる林業を実現するため、路網整備の徹底、林業経営の低コスト化、人材養成などを図る。

5 愛知県が目指す森林づくり

積極的な森林活動が行われている森林づくり、自然の力を生かして育まれている森

林づくり、身近な里山林として活用されている森林づくりを目指す。

①食と緑の基本計画:木材生産量 12 万[?]、間伐実施面積 5 年間で 2 万 6 千 ha などの目標数値の設定。

②あいち木づかいプラン:低層公共建造物の原則木造化、公共施設・工事での県産木材の利用率 50%。

③あいち認証材制度:愛知県産木材の認証と認証材利用に対する支援制度。

④あいち森と緑づくり事業:森と緑づくり税を利用し、間伐や里山林整備、都市の緑の創出などを行う。

⑤低コスト林業の推進:高性能林業機械の導入、大量・直送輸送や低密度植栽の導入など。

これからの課題、取組として、森林境界の確認や低コスト林業の更なる推進、県産木材の利活用、林業従事者の育成、森林・林業に対する理解促進などがある。